

3. 2026 年度 事業予算

2026 年度 (R08 年度) 活動予算概要

予算概況

2025 年度は、コロナ禍の終息後に再開した従来の活動を継続するとともに、ホームページリニューアル、学会事業への効果的なハイブリッド形式の導入などの検討を行った。これと並行し、韓国安全学会との相互の年会への訪問交流の継続実施等国際交流の促進も行った。

2026 年度は、上記を継続してゆくとともに、学会員の減少傾向を勧誘努力で維持継続を持続すること、学会事業への効果的なハイブリッド形式の運用などを検討してゆく。併せて、2004 年の安全工学会設立以来改定されていない会費の値上げを実施する。

経常収入の会費収入は、値上げによる大幅な増収を見込む。併せて、退会会員の抑止、新たな入会者の勧誘、未納入者への会員継続と会費納入の働きかけを継続する (¥24,705 千円)。今年の研究・教育事業は、第 59 回研究発表会 (2026 年 11 月 26 日 (木)～27 日 (金) 山形テルサ/¥4,090 千円) を開催する。PSS などとも開催する可能性があるが、基本的に±0 収支を見込む。

普及及び啓発事業 (受託事業を除く) について、2026 年度は、2005 年度に引き続き、効果的なハイブリッド開催による講習会やセミナーを継続するとともに開催できなかったセミナーの開催を目指す (安全工学セミナー、安全管理の最新動向講習会、安全工学実験講座など/¥17,834 千円)。

安全工学セミナーはハイブリッド開催の態様で全 4 講座を実施し、聴講者数の維持・拡大を図る。背景には、Web 開催の態様が、聴講者にとって、旅費交通費の節約、拘束時間の短縮化、職場からの離脱 (時間・距離) の減縮、などの利点があることが窺える (10,819 千円)。

収入の部合計は、¥47,801 千円となる。

経常費用として、直近の 2021～2025 年度実績を参考とした。

研究・教育事業に係る支出は、研究発表会及びプロセス安全シンポジウムの開催形態に拠るところが大きい収益の確保を前提に進める (4,559 千円)。

普及啓発事業の支出は、上記の施策を前提に実施する (12,620 千円)。

一般管理費は、節約と維持に努めるが、Web 活動に伴う機材のレンタルや、常置委員会の活動に伴う経費の増加に備えた (8,204 千円)。

人件費は、給与等は 2025 年度比減少となるものも、2026 年度は職員の定年退職に備え引当金を計上、全体では増加となった (19,526 千円)。

当期支出計 46,309 千円となり、当期の正味財産増減は、¥1,492 千円 (税引き前) の増収を見込む。

2026年度 予算計画書

令和08年(2026年)4月1日から令和09年(2027年)3月31日まで
 特定非営利活動法人 安全工学会

000 一般会計

税込

単位:円

科目	2021年度 実績 (円)	2022年度 実績 (円)	2023年度 実績 (円)	①2024年度 実績 (円)	②2025年度 実績 (円)	③2026年度 予算 (円)	対前年差 ③-② (千円)	
【収入の部】								
会費収入	24,590,400	24,406,800	23,832,400	23,522,800	23,531,200	24,705,000	1,174	*2026年会員数：2025年ピーク値を採用 維持会員 19社 (19：±0) 賛助会員 65社 (67：-2) 普通会員 515名 (521：-6) 学生会員 79名 (77：+2) シニア会員 53名 (55：-2) ()は2025年収入より推定した会員数 会員数は徴収、収入は値上げにより大幅増
維持会員会費	8,400,000	8,400,000	7,600,000	7,600,000	7,600,000	7,980,000	380	
賛助会員会費	10,800,000	10,650,000	10,650,000	10,350,000	10,200,000	10,400,000	200	
普通会員会費	5,136,000	4,992,000	5,217,600	5,068,800	5,088,000	5,665,000	577	
学生会員会費	134,400	216,000	177,600	307,200	379,200	395,000	16	
シニア会員会費	120,000	148,800	187,200	196,800	264,000	265,000	1	
事業収入	13,961,542	14,936,700	45,448,821	21,474,256	20,424,241	21,924,350	1,500	
研究・教育事業	2,876,000	3,241,000	33,984,532	5,692,500	3,877,000	4,090,000	213	*研究発表会予算より(値上げ、補助金増)
研究発表会費用	1,800,000	2,448,000	2,365,000	3,430,000	3,877,000	4,090,000	213	*2024年度のみ
シンポジウム収入				2,262,500	0	0	0	
プロシ安全シンポジウム(PSS)参加費	1,076,000	793,000		0	0	0	0	
7th GSPS hosted by CCPS & JSSE			31,619,532	0	0	0	0	
普及啓発事業	11,085,542	11,695,700	11,464,289	15,781,756	16,547,241	17,834,350	1,287	*現地対面模索とハイブリッド化
安全工学セミナー	7,540,500	7,722,550	6,399,050	8,966,000	10,031,000	10,819,350	788	*25年度実績より推定
安全工学地域セミナー	115,500	未実施	未実施	798,000	未実施	520,000	520	
安全管理の最新動向講習会	未実施	未実施	未実施	895,200	948,800	955,000	6	
安全工学実験講座	294,800	418,000	1,052,000	1,214,000	1,292,000	1,400,000	108	
災害事例研究会	未実施	未実施	未実施	0	0	0	0	
地域(団体)支援セミナー	211,325	112,706	139,442	315,261	未実施	150,000	150	
体感訓練の教育セミナー	未実施	654,000	859,000	646,000	863,000	840,000	-23	
図書販売	320,863	160,264	218,051	135,619	184,841	150,000	-35	
年間購読料	914,054	901,180	952,676	952,676	1,120,000	1,000,000	-120	*維持継続
広告料収入	1,688,500	1,727,000	1,844,070	1,859,000	2,107,600	2,000,000	-108	
寄附金・助成金	0	700,000	0	524,000	140,000	742,000	602	山形の補助金を計上
預金利息	503	532	535	23,716	82,926	80,000	-3	
雑収入	145,690	158,972	12,968,692	337,107	349,653	350,000	0	前年度並み(総会懇親会費込み)
当期収入合計(A)	38,698,135	40,203,004	82,250,448	45,881,879	44,528,020	47,801,350	3,273	
前期繰越収支差額	39,867,830	41,355,508	42,958,120	36,900,771	32,643,989	31,606,404	-1,038	
収入合計(B)	78,565,965	81,558,512	125,208,568	82,782,650	77,172,009	79,407,754	2,236	
【支出の部】								
研究・教育事業	2,894,592	4,081,427	48,899,486	5,987,874	5,321,506	4,559,000	-763	
安全工学研究発表会	1,950,638	2,889,975	8,155,513	3,601,021	4,781,308	4,474,000	-307	*研究発表会予算より (APSS、PSSは考慮せず)
GSPS hosted by CCPS & JSSE		55,544	39,917,803	0	0	0	0	*研究発表会予算より
APSS			726,799	770	504,923	0	-505	
プロシ安全シンポジウム(PSS)	856,068	1,111,838		0	0	0	0	
常置委員会	0	0	45,432	168,138	未実施	50,000	50	*一部対面及びハイブリッド開催
医療安全研究会	22,494	0			0	0	0	
安全工学シンポジウム	24,802	24,070		2,217,945	35,275	35,000	-0	
産業防災研究会	40,590		53,939	0			0	*シンポ：共催分担金
静電気災害防止研究会							0	
地域振興研究会							0	
普及啓発事業費(受託外)	8,246,816	8,818,690	9,937,557	11,697,349	11,955,024	12,620,000	665	
会誌発行	5,057,128	5,334,748	5,342,340	5,770,678	6,157,572	5,700,000	-458	*維持継続(前年度実績より)
販売図書費	169,840	87,648	102,365	57,315	50,629	100,000	49	
安全工学セミナー	2,229,222	2,310,386	2,352,507	3,021,045	2,929,899	3,000,000	70	
安全工学地域セミナー	51,844			385,064	0	400,000	400	
安全管理の最新動向講習会	未実施	未実施	未実施	321,484	387,129	400,000	13	
安全工学実験講座	565,251	601,026	1,318,796	1,342,059	1,742,885	1,700,000	-43	*開催することを目的に方法を模索、検討
災害事例研究会	未実施	未実施	未実施	0	0	0	0	*収支はゼロベースでも実施優先
地域企業(団体)支援セミナー	168,546	84,878	121,929	227,927	0	120,000	120	*開催の経費は基本的に同じ(=前年費用)
体感訓練の教育セミナー	未実施	396,503	593,737	461,447	654,420	700,000	46	
編集委員会、普及委員会	4,985	3,501	105,883	110,330	32,490		-32	
他委員会						500,000	500	*企画PJ 50万円
事業所長懇談会など							0	
普及啓発事業費(受託)	0	0					0	
調査研究及情報収集事業費	216,395	217,154	217,529	217,995	1,132,074	220,000	-912	*25年度：抑要新80万円、一斉配信10万円
研究奨励・表彰	186,676	242,552	302,069	325,714	264,216	300,000	36	
各賞授与関係	186,676	242,552	302,069	325,714	264,216	300,000	36	
諸団体連携協力	505,892	861,917	537,545	506,775	505,913	880,000	374	
諸会費	505,892	505,776	537,545	506,775	505,913	530,000	24	
国際交流 諸事		356,141		0		350,000	350	*韓国への航空券2名分+α(宿泊韓国持ち)
管理費	24,090,086	24,308,652	28,343,611	31,332,954	26,316,872	27,730,000	1,413	
人件費	18,688,082	18,141,268	21,616,292	24,410,839	18,780,104	19,526,000	746	
給与・賞与	10,667,917	10,861,092	12,396,155	12,562,923	11,506,205	10,902,000	-604	
通勤定期代	954,240	942,060	1,029,040	712,290	578,760	588,000	9	
パート給与・賞与	3,413,787	3,651,172	4,010,961	5,534,785	4,188,840	3,320,000	-869	*事務局長交代に掛かる費用を計上削減
パート通勤費	439,872	457,408	338,778	414,264	281,148	216,000	-65	*引当金計上2500千円(前年は計上なし)
福利厚生費・引当金	3,212,266	2,229,386	3,841,358	5,186,577	2,225,151	4,500,000	2,275	
一般管理費	5,402,004	6,127,384	6,727,319	6,922,115	7,536,768	8,204,000	667	
支払手数料	0	0			489,957	0	-490	
事務用品費	2,605	5,123		2,724		5,000	5	
一般会議費 8%		21,571	857	962	0	0	0	
一般会議費 10%	64,233	174,668	325,896	167,093	314,066	400,000	86	
旅費交通費	5,314	39,652	47,117	57,564	97,053	100,000	3	
通信運搬費	260,794	272,092	449,383	364,883	438,215	1,550,000	1,112	*基本的には前年度を維持継続
消耗品費	11,023	20,630	31,126	57,805	406,488	30,000	-376	*現地対面化の促進を視野に
印刷製本費 8%	9,072	9,072		15,895			0	*Web開催、ハイブリッド開催を取り入れて経費を削減
印刷製本費 10%	327,932	398,802	257,202	180,213	147,646	350,000	202	*消耗品費・ハイブリッド機材の充実化完了
共益費・光熱費	492,041	543,059	519,665	511,270	518,616	520,000	1	*通信運搬費：電子帳簿保存法対応システム(維持費を上限の950千円で計上、上限に達しなければ250千円)
賃借料	1,385,166	1,382,856	1,382,856	1,382,856	1,382,856	1,383,000	0	
諸謝金			22,274	11,023			0	
コンタクト料	330,000	330,000	330,000	330,000	330,000	330,000	0	
租税公課	610,800	781,450	706,900	1,240,100	968,100	970,000	2	
リース・レンタル料(8%)	1,270,080	438,696	283,824	197,544		200,000	200	
リース・レンタル料(10%)		1,125,520	1,348,072	1,370,314	1,540,729	1,400,000	-141	
OA機器管理費	358,184	346,514	431,717	566,749	577,518	700,000	122	
清掃管理費	224,004	211,752	212,586	218,460	226,620	212,000	-15	
振替手数料	21,371	21,569	13,381	4,666		20,000	20	
雑費(8%)		23,958		9,054		10,000	10	
雑費(10%)	29,385	20,400	364,463	232,940	98,904	24,000	-75	
繰入金支出	1,000,000						0	
当期支出合計(C)	37,140,457	38,530,392	88,237,797	50,068,661	45,495,605	46,309,000	813	
税引前当期収支差額(A)-(C)	1,557,678	1,672,612	-6,987,349	-4,186,782	-967,585	1,492,350	2,460	
法人税、住民税及び事業税(D)	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	0	
当期正味財産増減額(E)	1,487,678	1,602,612	-6,057,349	-4,256,782	-1,037,585	1,422,350	2,460	
次期繰越収支差額(B)-(C)-(E)	41,355,508	42,958,120	36,900,771	32,643,989	31,606,404	33,028,754	1,422	